

経営比較分析表（平成28年度決算）

高知県 高知市

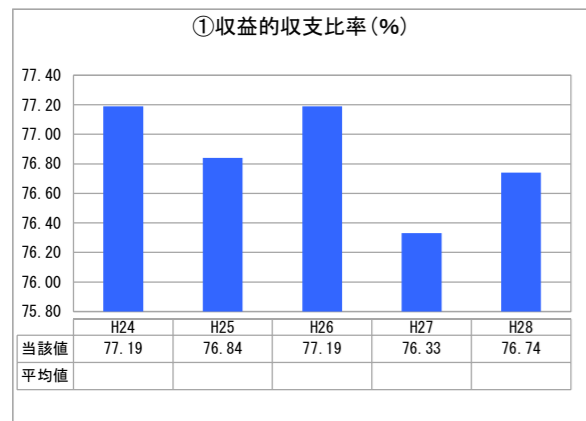
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	1.24	91.48	2,548

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
334,049	309.00	1,081.06
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,106	6.30	651.75

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成28年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



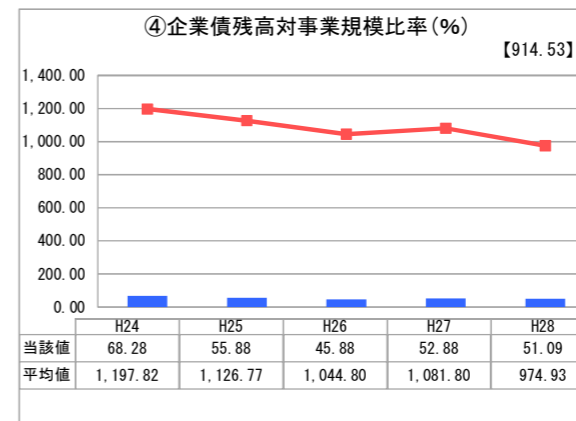
「単年度の収支」



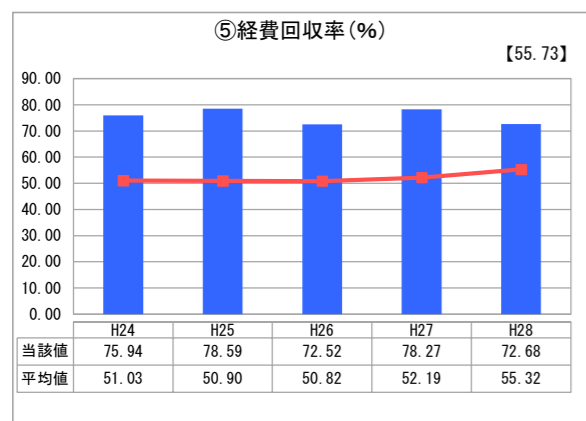
「累積欠損」



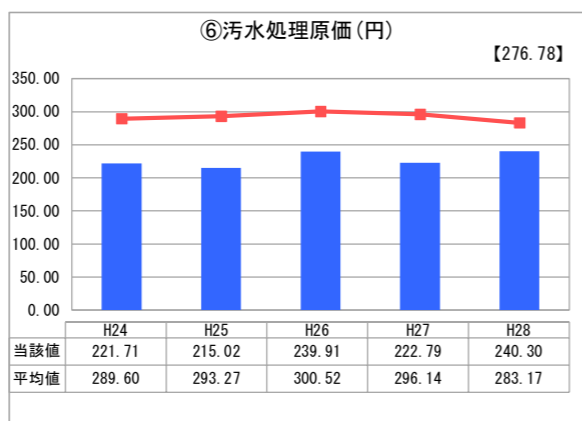
「支払能力」



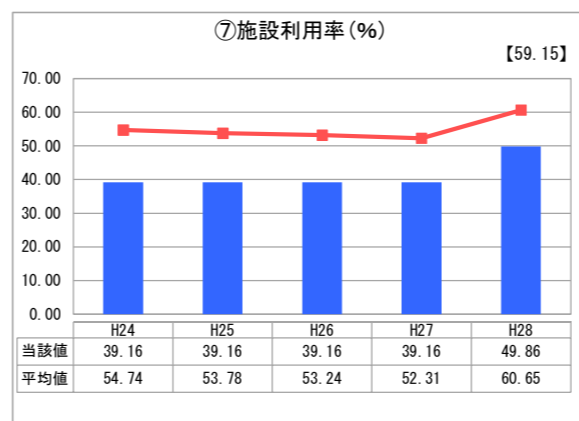
「債務残高」



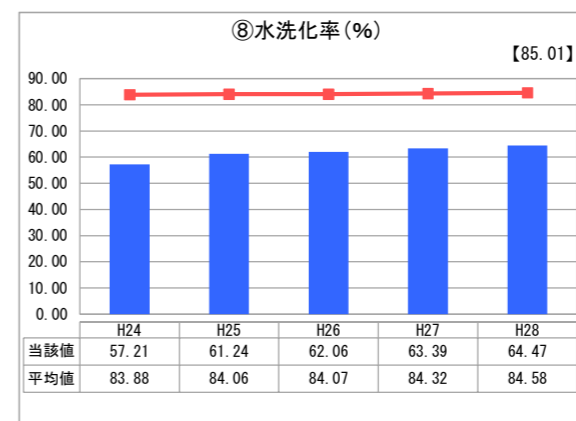
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

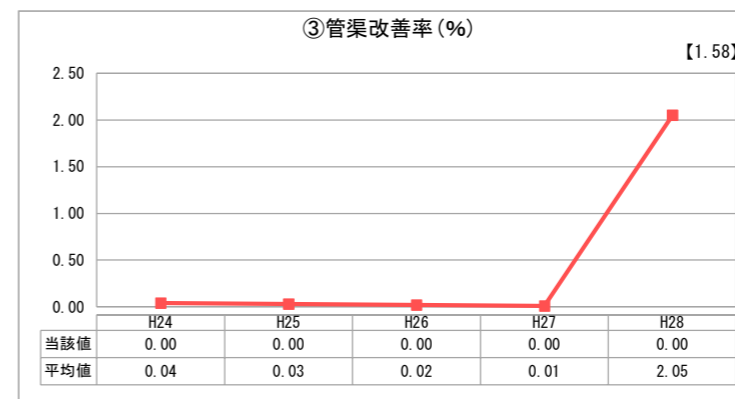
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率は全国平均より高く、汚水処理原価は類似団体平均よりも低い状況は平成28年度も継続しているが、一般会計からの繰入れに依存している。

しかしながら、水洗化率については、毎年、上昇しているものの、依然として類似団体平均よりも低くなっている。また、施設利用率も同様に類似団体平均を下回っている。

したがって、施設利用率や80%弱で推移している収益的収支比率を向上させるためにも、引き続き、水洗化率の向上にむけた、普及促進の取組みを継続・強化していく。

2. 老朽化の状況について

現在、平成27年度から昨年度にかけて実施した農業集落排水処理施設の機能診断結果などを踏まえ、機械設備や各処理施設の更新時期等を示した、最適整備構想を策定中である。

来年度以降は、この最適整備構想に基づいて、計画的に老朽化施設の更新等を実施していく。

全体総括

人口減少や節水意識の定着等による有収水量の減少に伴う収益の減少が見込まれるなか、老朽化した施設等の更新については、平成31年度以降に着手する予定である。

今後、使用料改定が実施された場合には一定の収益改善が見込まれるものの、長期的に安定したサービスの提供に向け、引き続き、普及促進活動の継続・強化による水洗化率の向上などの収益向上の取組みを実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成24年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。